

年 組 名前：



児童に紙芝居を見せる佐治妙心さん

＝南部・栄小

「原爆の子」通じ平和学習

南部・栄小は、静岡県伊豆市の大蓮院住職の佐治妙心さん(38)を招き、広島・平和記念公園の「原爆の子の像」のモデルとなった少女を題材にした平和学習会を開いた。20年前、身延山大在学中に榮小で行った読み聞かせを皮切りに、国内外で紙芝居上演や講話を続けている佐治さんが、統合により2025年度末で閉校する同校を訪問。海外の戦争体験者との交流に触れ、「二人一人の争いの芽をなくすことが大切」と呼びかけた。

〈中嶋寿美子〉

南部・栄小 住職招き紙芝居や講話

佐治さんは12歳の頃、像のモデルで、広島で被爆し白血病で亡くなった佐々木禎子さんの紙芝居を制作した。身延山大に在学中、榮小で読み聞かせボランティアをしていた南部町内船の平原永理子さん(65)に誘われ、活動をスタート。紙芝居は点字付き絵本になり、翻訳され、中国や米国、欧州などで紙芝居や講話を続けてきた。

5、6年生が参加して6月30日に開いた学習会では、佐治さんが自作の紙芝居「折り鶴の祈り」を読み聞かせ、禎子さんの兄が見せてくれた小さな折り鶴や、太平洋戦争でヘルマ(現ミヤンマー)に従軍し戦後は遺骨収集に取り組んだ祖父の話、米国の戦争体験者との交流などを紹介。「もっと早く『間違っている』と声を上げる勇気があれば戦争を止めることができたのでは。いじめも同じ。私たちの常日頃の中にも潜んでいる、争いの芽をなくすことが大切」と語った。

6年の遠藤蘭さんは、「新しい戦争を起こさないために『こめんなさい』『ありがとう』という言葉を大切にしようと思った」と話した。

戦後80年

(2025年7月11日付 山梨日日新聞 17面)

問1 南部町の栄小学校は、静岡県の大蓮院住職の佐治妙心さんを招き、平和学習会を開きました。佐治さんは、学習会で児童になにを呼びかけましたか。

.....

問2 6年の遠藤さんは、佐治さんの話を聞いて、なにが大切だと思いましたか。

.....

問3 「原爆の子の像」が、広島・平和記念公園にある理由を考えて教えてください。

.....

.....